

## 沖縄の4 蛇連帯する3・24集会に参加して

平和な沖縄を返して !

集会は昨年(10・21)沖縄集会のビデオ上映から始まりました。高校生の少女は集会の中で訴えました。「悲劇のない平和な沖縄を返してください。」「沖縄の少女が不安の中でくらしている現状を早く解決してください。」「普天間基地のそばにある普天間小・中学校の授業風景を見ると、そこに学校があるのが不思議なくらい。しかし、移転する場所もないくらい基地に囲まれた町なのです。太田知事は『基地を無くしてほしい』という県民の信託を受けている以上、県民の期待に応えなければならない。口約束だけでなく、目に見える形で実現してほしい。』と語りました。

”基地ノー”の県民共闘強化を !

沖縄反戦地主会事務局長の池原さんは、沖縄がかつて大交易時代に守礼の邦として武器を持たないで中国・日本などアジアの多くの国々との交易に重要な役割を果たしてきたという誇り高い歴史から語り始めました。

さきの大戦末期、日本軍によって国体護持”のための捨て石にされ、大きな犠牲を払わされ、戦後平和条約の締結の際、アメリカに売り渡されてさらに大きな犠牲を払わされてきた。沖縄返還の直前に結成された「反戦地主の会」は最初3,000人であったが、政府の巧妙な切り崩しによって脱落者をだし、平良知事の時代、基地整理のために努力するという約束を取り付けたが、具体的な成果は何もなかった。いま私たちは太田知事のもとで、104号線越え砲撃中止、那覇軍港返還、読谷補助飛行場返還の3事案の実現を目指している。反戦地主33名は署名拒否で、77名は現地の地積確認にたいする異議申し立てでたたかっている。今回、太田知事の裁判が不当なものであってもがっかりすることはない。

安保の範囲内での基地整理は本土移転”を意味する。安保についての考え方で本土との温度差を感じるが、「基地ノー」で結集する県民共闘の強化がいま重要だと結びました。(井上記)

「沖縄県民の要求実現! 米軍の特権を許すな! 基地撤去・安保破棄!

3・31中央大集会」に参加して

井内 美和子

初寝を思わせる暑い陽ざしの下、亀戸中央公園は全国から集まった9万人の人・人・人であふれていました。怒りの沖縄から史上最高の100人以上の代表団、遠い北海道から350人……。参加人数を聞いただけでも感動です。土浦からは平和の会・新婦人などから11名が参加しました。

沖縄の代表の方の「沖縄戦で生き残り、77歳になります。もう77歳ではなく、まだ77歳です。みなさんとともにがんばれることを楽しんでいます。」、の言葉には、子や孫に基地のない島を残したいの決意が込められていて、いまも心に焼き付いています。

帰宅してNHKのニュースで写し出された沖縄集会は舞台の様子も人数もまるで違う!日比谷の3000人集会は取り上げて、9万人が集まった方は無視。「どうなってるの!」とテレビに向かって叫んでしまいました。やはり、参加した私たちがみんなに伝えていくしかないのだということを痛感。この歴史的

集会の場で平和の会の会員が1人増えたことを報告します。

行事どよみ

- 4月12日 第12回理事会(1中地区公民館)
- 4月13日 県平和委員会理事会(石岡)
- 4月14日 住専問題駅頭署名と「つどい」の呼びかけ
- 4月19日 「住専問題を考える集い」1中地区公民館
- 4月21日 土浦平和の会総会 1中地区公民館

おわり

### 住専問題を考える集い

とき 4月19日(日)

le: a o ~ 21:00

ところ 1申 K&K館

謨 摩 岸本 龍莫 氏

非傭 平和の会他6団体共催